

協会
設計
社員
県社

担い手育成確保を強化

岩崎会長の続投決まる

熊本県電設業協会（岩崎裕会長）は17日、平成27年度社員総会をメルクで開き、今年度事業計画を決めた。技能者の高齢化や若年入職者の減少を背景に担い手育成・確保の強化を図る方針で、後継者支援の講習会や高等学校等への広報活動などを実施する。

岩崎会長は「品確法、建設業法、入契法の制度改革で公共工事の品質確保や中長期的な担い手確保への配慮が明確化されたが、技能者の確保には依然多くの問題がある」と強調。国や県の施策に呼応した人材育成等の必要性を訴えた。

岩崎会長は「品確法、建設業法、入契法の制度改革で公共工事の品質確保や中長期的な担い手確保への配慮が明確化されたが、技能者の確保には依然多くの問題がある」と強調。国や県の施策に呼応した人材育成等の必要性を訴えた。



ダンピング防止対策にも触れ「適正な最低制限価格の設定や引き上げが必要」とし、関係団体と連携して自治体に対する要望・陳情活動を積極展開する考えを示した。

このほか事業計画では、高圧電気取扱特別教

育講習会講師養成の検討や、ボランティア活動の継続などを決議。熊本、宮崎、鹿児島県の3県電設協による合同研修会が今秋に熊本で開催されることから会員の協力を呼び

かけた。役員改選もあり、岩崎会長、鍛田敏夫副会長、福島孝次副会長、三宅信彦副会長の続投が決まった。